

第4学年1組 国語科学習指導案

指導者 教諭 瀬谷 純

1 単元名 目的に合わせて書こう

2 目標

- 相手や目的に応じて提案する文章を書くことに興味を持ち、意欲的に書こうとしている。
(国語への関心・意欲・態度)
- 自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成することができる。
(書くこと)
- 書こうとすることの中心を明確にし、理由や事例を挙げて書くことができる。
(書くこと)
- 接続語が果たす役割を理解し、適切に使うことができる。
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

3 単元について

(1)教材観

学校生活など身の回りの事柄を調べて文章を書くためには、相手や目的に応じて、書く材料の収集や選択の仕方、まとめなどに様々な工夫が必要になってくる。提案する文章という形式は、自分が提案することをみんなに分かりやすく伝えるという目的がはっきりしている。そのため、必要なことを取材し、工夫して整理することで、段落相互の関係に注意して文章を構成することができるであろうと考える。以上のことから、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成することという学習を行うのに適した教材であるといえる。

(2)児童観

本学級の児童に対して「資料をみて、学校でのけがをへらすにはどうしたらよいか、考え方とその理由を書きましょう。」という実態調査（平成＊年＊月＊日実施、第4学年＊組＊人）を行った。その結果、理由を明らかにし、自分の考えが明確になるように文章を構成して書くことができた児童は、＊人であった。自分の考えと理由を分け、段落ごとのまとまりを意識して書くことはできたが、段落相互の関係に注意することができなかつた児童は＊人で、段落のまとまりを意識することができなかつた児童は、＊人であった。このことから、本学級の児童は、段落相互の関係に注意して文章を構成することに課題があることが分かる。これまで、各段落に何を書くか考えて文章を書く指導に重きを置いていたため、今後は段落相互の関係に注意して文章を構成することができるようにするための指導を工夫することが必要であると考える。

(3)指導観

本単元では、「4年1組からの五つの提案」として、みんなが充実した学校生活を送るために自分の所属する委員会から全校児童に向けて提案する文章を書くという言語活動を設定する。まず、委員会ごとに分かれた児童同士がワークシートを用いて提案することを決定する。そして、調べ隊カードを活用して適切な方法で取材をし、必要な事柄を収集することができるようとする。次に構成メモを活用して調べたことをまとまりごとに分け、段落を作る。最後に構成チェック表を使って話し合いをすることで、段落の並べ方を考え、つなぐ一文を入れながら文章を構成することができるようになる。その際、段落のつながりがどのようになっているか考えることで、段落相互の関係に気付く。このように、提案する文章を書く活動を工夫することで、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係に注意して文章を構成する力を育てることができるであろうと考える。

4 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
・提案する文章を書くことに興味をもち、相手や目的に応じて資料を集めたり文章を書いたりしようとしている。	・自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成している。 ・書こうとすることの中心を明確にし、理由や事例を挙げながら書いている。	・接続語の役割を理解し、適切に使っている。

5 指導計画（7時間扱い）本時は第5時

次 時	学習活動・内容	主な評価 評
一 1	<p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 提案する文章の書き方を知り、学習の見通しをもとう。 </div> <p>2 学校生活や委員会活動を振り返り、全校に向けて「4年1組からの五つの提案」をすることを伝え、単元の見通しを持つ。</p> <p>3 委員会ごとに分かれ、グループ名を考え、全体の学習計画を立てる。</p> <p>4 どのように書いたら提案したいことが伝わるか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理由 ・事例 ・図や写真を入れる。 ・まとめ <p>5 ワークシートを使って学校生活や委員会活動を振り返って提案したいことを考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○提案する文章のモデルを示し、学習の見通しが持てるようにする。 ○相手に分かりやすく提案するための工夫を話合いによって見付けることができるようとする。 ○相手や目的に応じた文章の書き方を理解し、意欲をもって取り組もうとしている。 (関観察、発表) ○所属する委員会をもとに、グループ名を付け意欲的に活動できるようにする。 <p>評 学校生活や委員会活動を振り返って、困ったことや提案したいことを探している。 (書観察、ワークシート)</p>
二 1	<p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 提案するために必要なことを調べよう。 </div> <p>2 取材をして「調べたいカード」に記入をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インタビューした内容 ・見付けた資料やページの記入 ・参考図書のコピー <p>3 最も合った資料を選ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料に印をつける。 ・メモを整理する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○提案することをみんなが納得するような資料を探すことを確認する。 ○町の図書館から関連図書を借りて図書コーナーを五つ作っておく。 ○資料を探せない児童には、図書コーナーから自分の提案に合った本を選ぶように助言をする。 ○より適した資料を選ぶようにする。 ○選んだ資料は手元のファイルに入れて保管しておく。 <p>評 目的にあった資料を集めている。 (書分析、カード)</p>
2	<p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 表やグラフから提案理由になることをさがそう。 </div> <p>2 提案する文章を書く時に使うグラフや表を選ぶ。</p> <p>3 グラフや表から抜き出したことと提案することを結び付けて提案理由を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○提案理由の根拠になるグラフや表を選び、提案理由をはっきりさせることを確認する。 ○自分が提案することの根拠となるグラフや表を選ぶようにする。 ○グラフや表から分かったことの中から自分が提案することに合っていることを選ぶように助言する。 <p>評 グラフや表から必要なことを抜き出し、提案することと結びつけている。 (書観察、ワークシート)</p>
3	<p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 分かりやすい提案する文章を書くために構成メモを作ろう。 </div> <p>2 教師作成のモデルを使い、構成を確認する。</p> <p>3 各段落に小見出を付ける。</p> <p>4 段落ごとに集めた資料から書く事柄を選び、構成メモを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理由 ・事例 ・駒場小学校の現状 ・私たちが考える駒場小学校の姿 ・使いたい資料 <p>5 友達と構成メモを交換して読む。</p> <p>6 友達の助言を元に構成メモを見直し、修正する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○既習の「はじめ、中①、中②、終わり」という組立てを示す。 ○教師作成のモデルの構成を考え、どの段落に何を書くか明確にする。 ○中①と中②に小見出しを付け、書く内容をはっきりさせる。 ○「読んだ人がよく分かる」という観点から書く事柄を選ぶように助言する。 <p>評 中心が明確になるように、段落ごとに書く事柄を選んで構成メモを作っている。 (書観察、構成メモ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○チェック表を使用し、観点に沿って互いの構成メモを読むことができるようとする。 <p>評 観点に沿って交流し友達に助言をしている。 (書観察、構成メモ)</p>

4 (本時)	1 本時の学習課題を確認する。 提案理由と調べたことのつながりが分かるように提案する文章を書こう。	○はじめに提案したいこととその理由を書き、書こうとする=centerの中心を再度確認する。 ○構成メモをもとに、提案する文章を書くことを確認する。 ○中①と中②間にどのような一文を入れたら文章がつながるか考へることで段落のつながりに注意できるよう=する。 ○メモを写すだけにならないように教師作成のモデルを見て確認する。 評 文章と資料を関連付け、段落のつながりに注意して文章を書いている。 (書 分析, カード)	
5	1 本時の学習課題を確認する。 段落のつながりを考へて提案する文章を書こう。	○構成メモをもとに、提案する文章を書くことを確認する。 ○メモを写すだけにならないように教師作成のモデル文を見て確認する。 ○文章に最も合った資料を取り上げられるようにする。 ○段落の役割を考え、つながりを考へて文章を書くことができるよう=する。 評 よりよい内容になるように、文章を書き直している。 (書 分析, カード) 評 段落のつながりに注意して、接続語を適切に使っている。 (言 観察, カード)	
三	1 1 本時の学習課題を確認する。 提案する文章を完成させ、みんなで読み合って交流しよう。	○「はじめ、中①、中②、終わり」がどのようにつながっているかを確認しながら提案する文章を完成させる=する。 ○書いていることがわかるかどうか交流の観点を示し、目標に合った交流ができるよう=する。 評 交流を行い、提案したいことが分かるか意見を述べ合っている。 (書 観察, 発表)	

6 本時の指導

(1) 目標

文章と資料を結び付けることを通して段落相互の関係を考え、提案する文章を書くことができる。

(2) 準備・資料

調べ隊カード、集めた資料、構成メモ、モデル文、作文シート、国語辞典、学習カード

(3) 展開

学習活動・内容	指導上の留意点・◎目標に迫るための工夫
1 本時の学習課題を確認する。 提案理由と調べたことのつながりが分か るように提案する文章を書こう。	<ul style="list-style-type: none"> 課題提示とともに、自分は、どんなことを伝えたいのか確認するように投げかけ、本時の学習の意欲付けをする。
2 提案する文章に書く内容を確かめ合う。 ○始め …提案すること ○中① …提案理由 中② …調べたこと ○書くポイント <ul style="list-style-type: none"> 提案する理由（グラフや表をもとに） 調べたこと (提案することと合ったもの) 中①と中②のつながり (接続語の使い方) 	<ul style="list-style-type: none"> 本時は、始めと中①②の文章を書くことを確認する。 読む人が「分かりやすい」と思ってくれるためには、どのような工夫が必要か考えられるようには、提案する文章のモデルを用意しておく。 一段落を1枚のシートに書くようにする。 提案する文章を書くポイントを確認する。 資料と文章が合っている内容にすることを指示する。 構成メモを活用してメモの内容をふくらませながら書くように助言する。
3 提案する文章を書く。 みんなさんは、うさぎに正しくえさをあげ いますか。わたしは、うさぎの世話をする時 には、正しくえさをあげてほしいと思います。 ＊＊小のみんなにアンケートをとった結果 が、①のグラフです。うさぎの世話の仕方が 分からぬといいう人が多いことが分かりま す。もし正しくえさをあげないとうさぎは、 病気になってしまします。そこで、うさぎの えさのあげ方にについて調べました うさぎのえさは、固形フードです。図②に あるようにんじん、ブロッコリー、ほうれ ん草など家にある野菜も食べます。その他、 クローバーやたんぽぽもえさになります。で も、タマネギやニラは、あげてはいけません。 朝夕二回、決られた時こくに食べべき量だけ あげます。 このように、正しくえさをあげて世話をす ると、うさぎは元気になります。そして、み んなやさしい気持ちでいっぱいになります。 うさぎは元気になります。そして、み	<p>◎始めは、100字以内、中①は、140字以内でまとめるという字数を制限することで、書く内容を吟味し、伝えたいことが明確になるように書くことができるようとする。</p> <p>◎なかなか書き出せない児童には、書き出しの言葉やモデル文を参考に書き進めていくように支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 困った時は、グループで話し合いながら書き進められるようにする。 中①と中②段落の間にどのような一文を入れたら文章がつながるか考えることで段落のつながりに注意できるようとする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◎段落のつながりを考えて提案する文章を 書いている。 (書分析作文シート)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 書き終わった児童には、チェック表を使って推敲し、分かりにくいところを書き直すように助言する。 推敲する観点に沿ってアドバイスをしたり、友達の優れた表現を参考にしたりする声かけをする。
4 提案する文章をグループで見せ合い、意見を述べ合う。 ○推敲する観点 <ul style="list-style-type: none"> グラフや表から分かったことは書けたか。 資料と文章は合っているか。 調べたことがよく分かるように書けたか。 中①と中②は、どのようにつながっているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のねらいに沿って学習を振り返ることができるようとする。 次時の活動を確認することでよりよい提案する文章を仕上げようという意欲付けを図る。
5 本時の学習のまとめをする。 (1)学習カードに振り返りを書く。 (2)次時の活動を確認する。	